

「科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点調査)」にかかるQ&A

2021/12/15 更新

調査期間中に頂いた調査にかかわるQ&Aを適時掲載していきます。

Q. 学長(理事長)とマネジメント実務担当者の2人に依頼が届きました。それぞれ別個に回答をすべきでしょうか。(2021年12月15日追加)

A. 本調査は、一定の職位にある方の個人としての意識についてお伺いする調査です。そのため、それぞれの方に別個にご回答をいただけますようお願いいたします。

Q. 地域創生に関する質問項目の「地域」とは、どこのことを指すのでしょうか。地方創生の「地方」と同じ意味ですか。(2021年12月15日追加)

A. ここでの「地域」とは、地方創生の「地方」とは異なり、ある大学や研究機関の周辺地域を意味しております。大学や国研等の研究者・マネジメント層としてご回答の方は、ご自身の所属機関の周辺地域と解釈してください。企業の代表・研究開発責任者または俯瞰的な視点を持つ者としてご回答の方は、ご回答時に念頭に置かれた大学・研究機関の周辺地域と解釈してください。

--- 以下は、2021年12月14日以前から掲載していたQ&Aです。

Q. (全般) 本調査のねらいは何ですか。

A. 「科学技術の状況に係る総合的意識調査(以下、NISTEP 定点調査)」は、基礎研究の多様性など通常の研究開発統計からは把握しにくい、日本の科学技術とイノベーションの状況について、産学官の研究者や有識者への意識調査から明らかにする調査です。

これまで3期15年間にわたり実施されてきたNISTEP 定点調査は、第6期科学技術・イノベーション基本計画策定の議論をはじめ、政府の各種審議会等で活用されています。調査結果は、毎年、報告書として公表され、文部科学省や総合科学技術・イノベーション会議に提供されます。第6期基本計画の進捗状況の把握や次期基本計画の策定において、NISTEP 定点調査は、これまでに以上に重要な役割を果たすことが期待されます。

本調査の特徴は、毎年、同一の回答者に、同一の調査票を用いて意識調査を実施する点です。

今回の調査は第6期基本計画期間中(2021~25年度)の5年間にわたって実施します。

2年目(毎年秋ごろ実施予定)からは、ご本人の前の回答結果をお示しし、前回と異なる回答の場合はその変更理由を、前回と同じ回答であっても補足などがある場合には意見等をご記入頂きます。これにより、第6期基本計画期間における、我が国における科学技術とイノベーションの状況の変化とその変化の理由を明らかにしていきます。

Q. (調査票) 1~6段階で回答する質問について、1~6はどのような基準で選べば良いですか。

A. 下の質問の場合、若手研究者(博士課程学生は除く)に自立と活躍の機会を与えるための環境の整備が十分とお考えの場合は「6」に、不十分とお考えの場合は「1」に印を付けて下さい。ただし、十分や不十分にも度合いがありますので、それを考慮して「1」~「6」の間で、ご回答下さい。

なお、回答に際しての前提条件は、質問や回答者グループによって変化します。

**若手研究者(39歳くらいまでのポストドクター、研究員、助教、准教授など、博士課程学生は除く)の状況
XXXにおける状況をお答え下さい。**

問1	若手研究者(博士課程学生は除く)に自立と活躍の機会を与えるための環境の整備は十分だと思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 十 分	1	2	3	4	5	6	十 分
----	--	-----------------------	-----------------------	-------------	---	---	---	---	---	---	--------

Q. (成果の公表方法について) 調査結果では、調査対象者の身元や所属先もコメント等と一緒に公表されるのでしょうか?

A. 謝辞への記述をご承諾いただいた方のお名前と所属については、報告書の最後に一覧として掲載する予定です。個別のコメントについては、属性情報と共に示し、誰のコメントかが特定出来ないようにします。

以下に報告書におけるコメントの掲載方法の例を示します。例に示したように、コメントの後に回答者の属性を示します。

また、ご回答内容を個人名つきで公開したり、個人・組織を評価する目的で用いることは致しません。

若手の育成の方法に対しては、様々な意見がある。単に独立させるだけでは、十分な能力が発揮できない若手研究者も多い。集団の中で「みがく」事も重要であり、一面的な施策は危ない。両者の総合的なバランスが重要である。もう一点は、若手が自分の研究を提案し進める力を、指導者が十分に引き出す努力も必要である。(大学, 第1G, 理学, 主任研究員、准教授クラス, 男性)